

トルクメン語<sup>1</sup>の(連用修飾的)複文<sup>2</sup>

奥 真裕

(1) 彼はいつも新聞を読みながらご飯を食べる.

(1a) Ol hemişe gazet oka-p otyr-ka nahar iy-ýär.  
 彼 いつも 新聞 読む-CONV AUX-CONJ ご飯 食べる-PRES  
 「彼はいつも新聞を読んでいるとき、ご飯を食べる。」

(1b) Ol hemişe gazet oka-ýär-ka nahar iy-ýär.  
 彼 いつも 新聞 読む-PRES-CONJ ご飯 食べる-PRES  
 「彼はいつも新聞を読むとき、ご飯を食べる。」

Clark(1998:483)によると、-kA<sup>3</sup>は動詞の定形やその他いくつかの品詞に付加され、行動が同時に行われていることを示す。グロスでは接続詞として示しているが、トルクメン語における他の接続詞とは違い人称<sup>4</sup>をとる。

(2) (私は) 昨日は 10時に家に帰って、少しテレビを見て (から)、寝ました.

(2a) (Men) düýn sagat on-da öý-e gaýd-yp, biraz telewizor gör-üp,  
 (私) 昨日 10時-LOC 家-DAT 帰る-CONV 少し テレビ 見る-CONV

<sup>1</sup>トルクメン語はトルクメニスタン、イラン、アフガニスタンなどで話されている言語である。チュルク諸語の南西語群（オグズ語群とも呼ばれる）に分類され、トルコ語やアゼルバイジャン語と近い関係にあるとされる。部族ごとの方言が色濃く残っていること、チュルク語祖語の母音の長短の区別を保っていることが特徴として挙げられる。言語類型論的にはいわゆるアルタイ型であり、SOVの語順をとる言語である。本稿における表記は正書法を採用している。

<sup>2</sup>本稿の作成にあたり、トルクメン人のRさん（Mary州出身、22歳、男性）のご協力を得た。また、指導教官である菅原睦先生からは多くのご指摘をいただいた。この場を借りて感謝を述べたい。なお、誤りはすべて執筆者の責任である。調査にあたっては、筆者の作例を修正してもらった形で行った。また、実際の使用の場面をそれぞれ想定しながら自然な使用が可能な文を採用した。

トルクメン語の複文としての研究はNartyýew et.al.(2002)のように伝統的なロシア語学の研究の影響を強く受けており、finite verbのみを扱っている。しかし、トルクメン語やチュルク諸語ではnon-finite verbで現れる複文も多くみられるため、それらの複文としての分析がなされてこなかった。

<sup>3</sup>以下、大文字は子音の同化や母音調和による交替をしめす。(A=a/ä; E=e/a; I=i/y/ü/u)

<sup>4</sup>基本的には所有人称接尾辞を取るが、3人称複数だけは、代名詞由来の接辞を取る。

(soňra) ýat-dy-m.

(後で) 寝る-PAST-1SG

-Ip は日本語のテ形にあたる副動詞で、トルクメン語においては一文の中で 2 度使用しても不自然ではない。

(2b) (Men) düýn sagat on-da öý-e gaýd-yp, biraz telewizor

(私) 昨日 10時-LOC 家-DAT 帰る-CONV 少し テレビ

gör-dü-m de ýat-dy-m.

見る-PAST-1SG CONJ 寝る-PAST-1SG

-Ip の重複を避けるため、接続詞 de 「そして」を用いて表現することもできる。

(2c) (Men) düýn sagat 10-da öý-e gaýd-yp, biraz telewizor

(私) 昨日 10時-LOC 家-DAT 帰る-CONV 少し テレビ

gör-en-im-den soň, ýat-dy-m.

見る-PART-POSS.1SG-ABL 後で 寝る-PAST-1SG

「～した後で」(形動詞+人称接尾辞+奪格と soň(soňra)) を用いた表現。

(3) (私は) 昨日階段で転んで、ケガをしてしまった。

(Men) düýn basgançak-dan büdrä-p<sup>5</sup>, ýaralan-dy-m.

(私は) 昨日 階段-ABL 転ぶ-CONV 怪我をする-PAST-1SG

(4) 今日も父は会社に行って、兄は大学に行った。

(4a) Şu gün hem kaka-m kärhan-a git-di, dogan-ym bol-sa

今日 も 父-POSS.1SG 会社-DAT 行く-PAST 兄-POSS.1SG なる-COND

uniwersitet-e git-di.

大学-DAT 行く-PAST

(4b) Şu gün hem kaka-m(-a) kärhan-a, dogan-ym bol-sa

今日 も 父-POSS.1SG(-MOD) 会社-DAT 兄-POSS.1SG なる-COND

uniwersitet-e git-di.

大学-DAT 行く-PAST

---

<sup>5</sup> -Ip は母音の後につくとき、I が落ちる。

kaka-m(-a)の-A<sup>6</sup>と bolsa 「～はといえば」は主題を強調するマーカー。

- (4c) Şu gün hem kaka-m kärhan-a gid-ip, dogan-ym  
 今日 も 父-POSS.1SG 会社-DAT 行く-CONV 兄-POSS.1SG  
 uniwersitet-e git-di.  
 大学-DAT 行く-PAST

トルクメン語においては異なる主語においても副動詞-Ip を使用することができる。  
 近い言語といわれているトルコ語では不可。

(5) (あの人は) 今日は帽子をかぶって歩いていた。

- (5a) Ol adam şu gün telpekli ýörä-p bar-ýar-dy.  
 あの 人 今日 帽子つきで 歩く-CONV 行く-PRES-PAST.COP

terpekli の-II は名詞類から名詞類を派生させる接尾辞である。ここでは terpekli が副詞的に使われている。ýörä-p のかわりに, aýlan-yp (まわる) gez-ip (散歩する) もよく用いられる。

- (5b) Ol adam şu gün telpeg-i-ni geý-ip ýöre-p  
 あの 人 今日 帽子-POSS.3SG-ACC 着る-CONV 歩く-CONV  
 bar-ýar-dy.  
 行く-PRES-PAST.COP

(2)と同様に副動詞-Ip をもちいて表す。

(6) (私は) 休みの日はいつも本を読んだり, テレビを見たりしています。

- (6a) Men dynç gün-ler-i hemişe kitap oka-p, telewizor  
 私 休み 日-PL-POSS.3SG いつも 本 読む-CONV テレビ  
 gör-ýär-in.  
 見る-PRES-1SG

- (6b) Men dynç gün-ler-i-nde hemişe hem(ýa) kitap  
 私 休み 日-PL-POSS.3SG-LOC いつも も (または) 本  
 oka-ýar-yn, hem(ýa) telewizor gör-ýär-in.  
 読む-PRES-1SG も (または) テレビ 見る-PRES-1SG

<sup>6</sup> Clark(1998)は-A を appeal particle と呼んでいる。

hem... hem...は「～も～もする」という意味。必ずしも休みの日に両方の行為をしていなくともこの表現が使える。ya... ya...は「～または～をする」を用いた場合はどちらかの行為のみを行っていることを強調している。

(7) 時間がないから、急いで行こう。

(7a) Wagt-ymyz ýok. Çalt-rak gaýd-aly.  
時間-POSS.1PL 無い 早く-COMP 行く-IMP.1DUAL

(7b) Wagt ýok, şonuň üçin howlug-aly.  
時間 無い CONJ 急ぐ-IMP.1DUAL

(7c) Wagt ýoklug-y sebäpli howlug-aly.  
時間 無さ-POSS.3SG CONJ 急ぐ-IMP.1DUAL

(7a)のように二つの単文で表現する方がより自然であるが、あえて複文で表すとすれば、(7b)や(7c)のように接続詞をもちいることもできる。(7b)の şonuň üçin 「そのため」は代名詞 şol 「それ」の属格形 şonuň と üçin 「ために」という語に分析できる。また、(7c)の sebäpli は sebäp 「理由」に-II という名詞類から名詞類を派生させる接尾辞が付いたものの、副詞的な使用である。(5a)を参照してもらいたい。

(8) 昨日は頭が痛かったので、いつもより早く寝ました。

(8a) Düýn kellä-m agyr-dy. Şonuň üçin önkü-nden ir-räk  
昨日 頭-POSS.1SG 痛む-PAST CONJ 前-ABL 早い-COMP  
ýat-dy-m.  
寝る-PAST-POSS.1SG

(8b) Düýn kellä-m agyr-an-lyg-y üçin, hemişeki-m-den  
昨日 頭-POSS.1SG 痛い-PART-III<sup>7</sup>-POSS.3SG POSTP いつも-POSS.1SG-ABL  
ir ýat-dy-m.  
早く 寝る-PAST-1SG

形動詞と後置詞 üçin を用いて原因、理由を表す従属節をつくる。üçin のかわりに sebäpli/ zerarly も用いられる。

<sup>7</sup> Clark(1998: 480-482)によると、-III (ここでは母音が続いているため-lyg と有声化している)は述語について、その節が名詞的な特徴を持つことを強調する小辞である。派生接辞の-III とは異なり、屈折的要素である。節を作る必須要素ではなく、特に口語においては省略されることが多い。

(9) あの人は本を買いに行った。

Ol adam kitap satyn al-mag-a git-di.  
あの 人 本 買う-VN-DAT 行く-PAST

(10) (彼は) 外が良く見えるように窓を開けた。

Ol daşar-y gowy görn-er ýaly<sup>8</sup> aýna-ny aç-dy.  
彼は 外-POSS.3SG よく 見える-INDEF.FUT ように 窓-ACC 開ける-PAST

(11) ここでは夏になると、よく雨が降ります。

(11a) Bu ýer-de tomus gel-en-de ýagyş köp  
この 場所-LOC 夏 来る-PAST.PART-LOC 雨 たくさん  
ýag-ýar.  
降る-PRES

「～すると」という条件は形動詞と位格で表される。

(11b) Tomus-da (/toms-u-na) bu ýer-e ýagyş köp ýag-ýar.  
夏-LOC (夏-POSS.3SG-DAT) この 場所-DAT 雨 たくさん 降る-PRES  
「夏にここには雨がたくさん降ります。」

動詞を用いない、二つ目の文の方が自然である。

(12) 窓を開けると、冷たい風が入って来た。

Aýna-ny aç-an-ym-da salkyn şemal gir-di.  
窓-ACC 開ける-PAST.PART-POSS.1SG-LOC 涼しい 風 入る-PAST

(13) 坂を上ると、海が見えた。

Ýapgyd-a çyk-an-ym-da deňiz görün-di.  
坂-DAT 出る-PAST.PART-POSS.1SG-LOC 海 見える-PAST

<sup>8</sup> 不確定未来形の-Er と共に様態をあらわす ýaly「みたい、ようだ」を用いると「～するために」という目的を表す表現になる。ちなみに、確定未来形をもちいた-jEk ýaly は「～するようだ」という推定をあらわす。

(14) 明日雨が降ったら、私はそこに行かない。

Ertir ýagyş ýag-sa, men ol ýer-e git-mer-in.  
明日 雨 降る-COND 私 その 場所-DAT 行く-NEG.INDEF.FUT-1SG

いわゆる仮定条件は動詞語幹+-sE で表される。

(15) もっと早く起きればよかったなあ。

Has ir-räk tur-an bol-sa-m  
もっと 早い-COMP 起きる-PAST.PART である-COND-1SG  
gowy bol-ar-dy.  
よく なる-INDEF.FUT-PAST.COP

反実仮想は形動詞過去と bolsa で表される。

(16) あんなところに行かなければよかった。

Olar ýaly ýer-e git-medik<sup>9</sup> bol-sa-m gowy  
あれら のような 場所-DAT 行く-NEG.PAST.PART である-COND-1SG よく  
bol-ar-dy.  
なる-INDEF.FUT-PAST.COP

(17) 1に1を足せば、2になる。

Bir-i bir-e goş-sa-ň, iki bol-ýar.  
1-ACC 1-DAT 足す-COND-2SG 2 なる-PRES

(18) 駅に着いたら電話をしてください。

Wokzal-a ýet-se-ňiz (ýet-en-iňiz-de) jaň ed-äý-iň.  
駅-DAT 着く-COND-2PL 着く-PART-POSS.2PL-LOC 電話 する-PS-IMP.2PL

(19) 日曜日になったら、みんなで公園に行きたいなあ。

Bazar gün-i hemmeleşip park-a gid-äýli.  
日曜 日-POSS.3SG みんなで 公園-DAT 行く-IMP.1PL

---

<sup>9</sup> 過去の形動詞の否定-medik/madyk は一見否定の-mE と-dIk という分析可能なように見えるが、肯定形は-En であり、トルクメン語において動詞語幹に直接付く-dIk という形は現代語において自由に使うことができないため、一つの要素として分析している。

(20) 明日雨が降ったら困るなあ。

Eger ertir ýagyş ýag-(aý<sup>10</sup>)-sa kösen-er-in.  
もし 明日 雨 降る-(PS)-COND 困る-INDEF.FUT-1SG

(21) 家に来るなら、電話をしてから来てください。

Öý-e gel-jek bol-sa-ň, jaň ed-ip gel-äý-iň.  
家-DAT 来る-DEF.FUT である-COND-2SG 電話 する-CONV 来る-PS-IMP.2PL

(22) [もうすぐベルが鳴るので] 鳴ったら、教えてください。

Jaň kakyl-an-da maňa aýd-aý.  
ベル 鳴る-PAST.PART-LOC 私に 言う-PS

発話者にベルがなる前提がある場合は形動詞過去+位格「～たとき」で表される。

(23) [もしかしたらベルが鳴るかもしれないので] もし鳴ったら、教えてください。

Eger jaň kakyl-sa aýd-aý.  
もし ベル 鳴る-COND 言う-PS

発話者にベルがなる前提がない場合は条件の-sE を用いて表される。

(24) 働かざるもの食うべからず。／働かない者は、食べるべきではない。

Işle-medik dişle-mez. (ことわざ)  
働く-NEG.PAST.PART 噛む-NEG.INDEF.FUT  
「働かない者は噛まない。」

(25) もう少しお金があったらなあ。

Ýene biraz pul-ym bol-aý-sa-dy.  
また 少し お金-POSS.1SG ある-PS-COND-PAST.COP

トルクメン語において条件形と過去のコピュラを用いて現実には反する願望を表す。

<sup>10</sup> Clark(1999:297)でムードの章で suffix of permission として取り上げられている。動詞語幹について用いられ、命令形や条件形、義務形などムードを表す接辞と共に用いられて許可、提案、主張、警告などを表すと説明されている。この接辞についての記述は十分であるとは言えない。(22), (23), (25)で使われている物も同様である。

(26) これも食べたら？

Mun-am iý-se-ň nätyä? (これも食べたらどう?)  
これ-も 食べる-COND-2SG どう

(27) やりたいなら (自分の) 好きなようにやれば？

Et-jek bol-sa-ň halaýyş-yň ýaly et.  
する-DEF.FUT である-COND-2SG 好み-POSS.2SG ように する(IMP.2SG)

(28) このコップは落としても割れない。

Bu stakan-y gaçyr-sa-ň-am döwül-enok.  
この コップ-ACC 落とす-COND-2SG-も 壊れる-NEG.PRES.3SG

(29) このリンゴは高かったのに、ちっとも甘くない。

Bu alma gymmat bol-sa-da, birem süýji дәл eken.  
この リンゴ 高い である-COND-も ちっとも あまい でない MOD

(30) 彼の家に行ってみたけれども、彼はいなかった。

Onuň<sup>11</sup> öý-ü-ne bar-yp gör-se-m, öý-ü-nde дәл  
かれの 家-POSS.3SG-DAT 行く-CONV 見る-COND-1SG 家-3SG-LOC でない  
(ýok) eken.  
ない MOD

(31) あの人があるまで、私はここで待っています。

Ol adam gel-ýänçä (/gel-inçä) men şu taý-da garaş-yp  
あの人 来る-CONV 来る-CONV 私 この 場所-LOC 待つ-CONV  
dur-aý-yn.  
いる-PS-IMP.1SG

-ýAnçA は「～まで (に)」を表す時間節をつくる。現在の形動詞-ýAn と接尾辞-çA からなる。トルクメン語では「～まで」と「～までに」を区別しない。-InçA も同じ意味である。

<sup>11</sup> onuň は 3 人称単数人称接尾辞の属格形であるが、主格が ol であり形態的に分析不可である。



(32) あの人があるまでに、食事を作っておきますよ。

Ol adam gel-ýänçä (/gel-inçä) men nahar bişir-ip  
 あの 人 来る-CONV 来る-CONV 私 食事 作る-CONV  
 goý-ar-yn.  
 置く-INDEF.FUT-1SG

### 略号一覧

ABL	奪格	NEG	否定
ACC	対格	PART	形動詞
COMP	比較	PAST	過去
COND	条件	PL	複数
CONJ	接続詞	POSS	所有接尾辞
CONT	進行	POSTP	後置詞
CONV	副動詞	PRES	現在
COP	コピュラ	PS	許可
DAT	与格	Q	疑問
DEF.FUT	定未来	SG	単数
DUAL	双数	VN	動名詞
IMP	命令・願望	1	1人称
INDEF.FUT	不定未来	2	2人称
LOC	位格	3	3人称
MOD	モーダル		

### 参考文献

- Clark Larry(1998) *Turkmen Reference Grammar*. Wiesbaden: Harrassowitz Verlag.  
 Nartyýew, N., Penjiýew, M., Myradow, A. (2002) *Häzirki zaman Türkmen Dili Sintaksis. Aşgabat: Ylym*  
 Söyegow, M., Borjakow, A., Sarhanow, M., Hojaýew, B., Ärnazarow, S.(eds.)(19.99) *Türkmen Diliniň Grammatikasy*. Aşgabat: Ruh